

First Feature Film by Tatsuya Ishii
石井竜也 第一回監督作品

俺はやっと、あいつのいる
故郷に帰ってきた...



河童

kappa かっぱ a water imp; a guardian spirit.

Takanori Jinnai 陣内孝則
Keisuke Funakoshi 舟越圭祐
Ryuji Harada 原田龍二
Tatsuya Fuji 藤 竜也

プロデュース 河井真也 脚本 永谷真澄
音楽 金子隆博 主題歌 米津CLUB
撮影 長谷川元吉 照明 森田清彦
美術 部谷孝子 編集 重田功 録音 中村孝
クリティケーティング 石井竜也
SFXスーパーバイザー 秋山真彦(リンクス)
SFXコーディネーター 杉村克之(リンクス)
特殊効果 ビルトアップ
ポストプロダクション

製作 KAPPAOCTA
KAPPAOCTA PRODUCTION
企画協力 LIVE UFO
IN ASSOCIATION WITH LIVE UFO PRESENTS
配給 日本ヘラルド映画
DISTRIBUTED BY NIPPON HERALD FILMS, INC.

早くも日本中で話題騒然! 期待の新人監督石井竜也登場!

「僕は映画監督になるために、これまでやってきた」と公言し、音楽・デザイン・美術等あらゆる表現分野、そしてショービジネスの世界をリードしてきたあの石井竜也が、親から子へ途切れること無く伝わっていく人生の残像を、主人公の少年と河童との出会い、父そして故郷に対する想いを通じて描く感動のエンターテインメント「河童」で遂に監督デビューを飾る。

現在、河童伝説は日本だけではなく世界の至る所で存在しているが、石井監督の描く映画「河童」は、'河童=宇宙人'という新しい発想

の元、準備期間に4年に渡る歳月をかけ、10億円におよぶ製作費を投入しCG等最新映像技術を駆使してアナログからデジタルの映画創りへと日本映画の枠組みを大きく飛び越え



た、感動とスリルを合せ持つスーパー・エンターテインメント・ムービーである。

主演は、映画・テレビで活躍を続ける陣内孝則。河童と出会った少年の父親役を壮絶に演じ、大人になった少年と河童の再会の物語を動機付ける。また、故郷への旅をする河童と出会った少年の現在の姿を、藤竜也が重厚にまた感動的に演じる。

その他にも、今回映画デビューを飾る期待の新鋭原田龍二、約千人にも及び候補の中から監督に選ばれた少年役の舟越圭佑が、初々しい演技を披露する。



感動のエンターテインメント「河童」—— 愛と夢へのキーワードは'TEN' ——

プロローグ

世界的な成功を収めている報道写真家鈴森雄太(藤竜也)の個展が15年ぶりに日本で開催されている。そのスノッパな客たちに紛れ場違いな若者=別れた妻との間にできた子供の戸田勇(原田龍二)が、挨拶をする鈴森に近づく。「15年も音沙汰なしにこんな招待状はねえだろ!」。殴りかかろうとする勇。が、心臓の悪い鈴森は突然倒れ病院に担ぎ込まれる。その夜、病室で鈴森は勇に話しかける。「俺にはあんまり時間が無い。お前は北川村知っているか?俺が育った場所なんだ」。勇は母と自分を捨てた父親に呆れて病室を出て行こうとする。その時、鈴森は床に奇妙な黒いボール=尻子魂を落とす。すると尻子魂は地球上の物質

では考えられない動きで、不思議なリズムを刻みながら床、壁、天井と四方八方にバウンドする。

そして鈴森はボツリとつぶやく。「俺は、子供の頃河童を見た」。

昭和28年、北川村——

8歳の鈴森雄太(舟越圭佑)は、東京から戻り村の駐在をしている父・勇吉(陣内孝則)と祖父・喜助(今福将雄)と暮している。雄太は、亡くなった母の変わりに家事をする勇吉を村の悪ガキにからかわれ、恥かしくてしかたがない。そんな父と子はお互いの愛情をうまく表現し合えないでいる。そして祖父からは、この村の天神沼の洞窟には昔から河童様が住んでおり、男の河童様は死んだら尻子魂にな

り女の河童様は空の川になると村の伝説を聞かされていた。そんなある日、事件が起きた。親友の克次が河童に襲われたというのだ。村の大人たちは熊と勘違いして、村あげての熊狩りを始める。そして熊狩りは河童様が祀られている天神沼の鳥居を燃やしてしまう大火災を引き起こす。大人たちが騒いでいる時、雄太は沼で翼にかかっている不思議な形をした緑色の生物を助ける。

そしてその不思議な生物は、今度は火が回り逃げられなくなった雄太を沼の筏で逃がしてくれる。絶対に洞窟に何かがいると確信する雄太。

そして、その日から村で奇妙な出来事が次々とおこり始めるのであった……

陣内孝則

舟越圭佑

原田龍二

藤 竜也

そしてTEN

TENの父、TENの母

河童

石井竜也 第一回監督作品

プロデュース:河井真也
脚本:末谷真澄
クリーチャーデザイン:石井竜也
音楽:金子隆博
主題歌:米米CLUB
サントラCD:ソニーレコード
ノベライズ:扶桑社刊
製作:カッパドキア
企画協力:LIVE UFO
配給:日本ヘラルド映画

〈WHO is 石井竜也?〉

1959年茨城県生まれ。学生時代より日展、二科展等数々の賞に入选し画家としての才能を開花させる。その後、将来の夢として映画監督の道を模索している時に、大久保謙作氏、小野田安秀氏らと運命的な出会いをし、1982年(米米CLUB)を結成、カールスモーキー石井としてリードボーカルを担当し、1985年「I CAN BE」でデビューを飾る。その後、リードボーカルの他、衣裳やコンサートの舞台、CDジ

ャケットのデザイン等、総合的にプロデューサー・デザイナーとして手掛ける。1982年には、シングル(君がいるだけで)が300万枚、アルバム(オクターブ)が250万枚を突破し、現在CDセールス、コンサートの動員力共にナンバー1の実績を誇る活動を続けている。そして今回カールスモーキーを捨て、石井竜也として念願の映画監督デビューを果たす。

本年度ナンバー1の 感動と興奮! 12月10日(土) お正月ロードショー 前売鑑賞券好評発売中 一般1,400円/学生1,200円

渋谷東急文化会館5階
渋谷東急
03(3407)7029

歌舞伎町・ミラノ座隣り
新宿東急
03(3200)1981

地下鉄東銀座駅下車・駐車場完備
松竹セントラル
03(5550)1631

池袋駅東口・サンシャイン60階通り
シネマサンシャイン
03(3982)6101

伊セザキ町・にっかつ会館
横浜オスカー
045(261)7378